

進路決定率 第2弾【国立・公立・私立大別】

「27年 進路決定率」私立大の伸びが顕著

国公立大は9割以上の決定率！

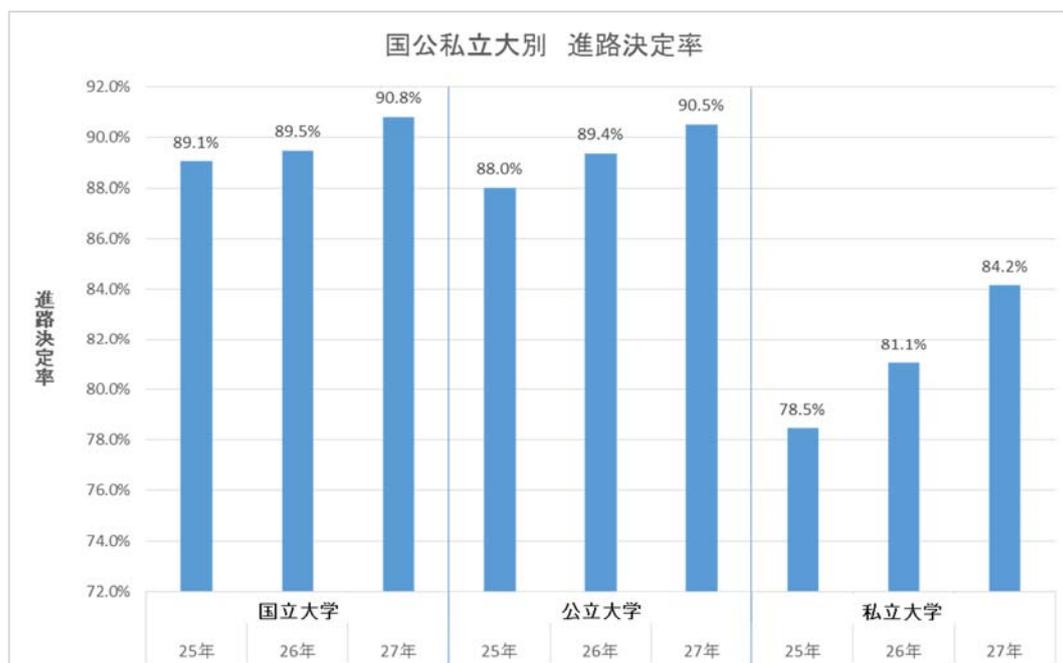
旺文社 教育情報センター 28年1月

「進路決定率」とは、大学の卒業生における大学院進学者と就職者の割合だ。

[前回の記事](#)では、この数値について旺文社刊行『大学の真の実力 情報公開 BOOK』（毎年9月末発行）のデータを基に25年からの経年で、全体、男女別、学部系統別という観点から見ていった。今回はそれを国立大・公立大・私立大別に見ていこう。

「進路決定率」についての説明は、[前回記事](#)をご参照いただきたい。

●国公立大別では、国立大・公立大の進路決定率が圧倒的に高い



*25年進路決定率は同年3月までの卒業生（24年度卒業生）のデータを元に算出。他の年も同様。

【有効回答数】

25年：699大学 2196学部、26年：710大学 2256学部、27年：712大学 2258学部

上のグラフは25年から27年の進路決定率を、国立大・公立大・私立大別に表している。まず、私立大に比べると、国立大・公立大の進路決定率が高くなっている。

国立大に関しては、理・工・農・獣医畜産・水産学部系統が卒業生の半数近くを占めており（25年：48.6%、26年：48.0%、27年：48.1%）、これらの系統の大学院進学者の割合が高いことが国立大全体の進路決定率を押し上げている。

公立大については看護・医療・栄養学部系統の人数が多い（卒業生における割合は25年：22.5%、26年：22.8%、27年：22.6%）。これらの学部は資格と職業が直結しており、国家試験の合格率も高いことから、公立大全体の進路決定率を上昇させる一因となっている。

一方、私立大は大学数も多く、学部もさまざまあり、個々の大学の進路決定率を見ると、極端な例を除いても50%台～90%台の幅広い分布となる。また、大学院進学者が少ないことが、進路決定率が国公立大に比べ低い要因となっている。

なお、学部系統別の進路決定率について、詳しくは前回記事をご覧ください。

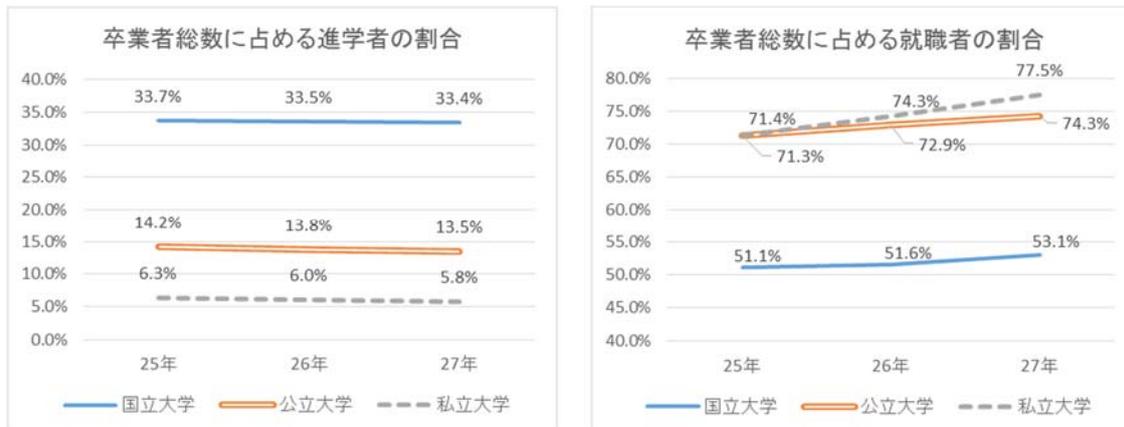
●国公立大いずれも、進路決定率は25年から上昇

前ページのグラフを見ると、国立大・公立大・私立大の進路決定率はいずれも25年から2年連続で上がっている。25年→27年で、国立大+1.8ポイント、公立大+2.5ポイント、私立大+5.7ポイントとなっており、中でも私立大が大きく上昇していることがわかる。

25年→27年で、私立大と国立大との差は、10.6ポイント→6.7ポイント、公立大との差は、9.5ポイント→6.4ポイントとなっており、私立大の進路決定率が大幅に上昇していることを受け、私立大と国公立大の進路決定率の差は、大幅に縮小されていることがわかる。

それでは、どうして私立大の進路決定率はこんなにも大きく上昇しているのだろうか。

●私立大は25年→27年で卒業生総数に占める就職者の割合が6.2ポイント上昇



*進学者の割合と就職者の割合の合計と、前ページの進路決定率が一致しないのは、上のグラフには臨床研修医を含んでいないため。

国公立大別の卒業生総数に占める進学者の割合と、就職者の割合を25年から27年の経年で表したのが上のグラフだ。

進学者の割合は国公立大いずれも減少傾向にあるが、それに対して就職者の割合が大きく上昇しているのが見てとれる。特に、私立大に関しては、25年→27年で6.2ポイントも伸びている。つまり、国公立大とも就職者の割合の上昇が進路決定率の上昇につながっており、中でも私立大で顕著という結果になっている。

●就職者のうち「正規の職員等でない者」の割合は？

前ページのグラフでは、卒業生総数における就職者の割合が私立大で高いことを示した。しかし、私立大の場合は、「正規の職員等でない者」も一定の割合でここに含まれていることに注意されたい。

ここでいう就職者とは、「正規の職員等」だけでなく、雇用契約が1年以上でフルタイムの「正規の職員等でない者」も含まれており、学校基本調査の基準に準じている。では、就職者のうち、「正規の職員等でない者」はどれくらいの割合でいるのだろうか。下の表は学校基本調査（27年度）より、その割合を国公立大別に見たものだ。公立大に比べ、私立大で高いことがわかる。特に男女別に見ると、私立大女子が6.8%でもっとも高く、1万人を超えている。

なお、国立大でも「正規の職員等でない者」の割合が高いが、これは国立大に数多く設置されている教育学部（教員養成課程）卒業者のうち、正規採用ではない、「臨時的任用」として採用される者が多いためとみられる。

26年文部科学省発表のデータでは、教員就職者6,465人、うち「臨時的任用」による就職者は2,652人という結果が出ている。

27年 就職者のうち「正規の職員等でない者」の割合

		就職者			就職者に占める「正規の職員等でない者」の割合
		正規の職員等	正規の職員等でない者	計	
国立大	男	26,371	1,535	27,906	5.5%
	女	23,738	1,613	25,351	6.4%
	計	50,109	3,148	53,257	5.9%
公立大	男	7,845	201	8,046	2.5%
	女	12,893	467	13,360	3.5%
	計	20,738	668	21,406	3.1%
私立大	男	166,059	6,328	172,387	3.7%
	女	151,672	10,988	162,660	6.8%
	計	317,731	17,316	335,047	5.2%



今回は国公立大別に進路決定率を見てきた。次回は地域別に割合を見ていこう。次回掲載は28年2月中旬を予定、こちらもぜひご覧いただきたい。